



from HIGASHIYAMA 東山

ヒットを飛ばしベンチが沸きました

## はつらつプレーに大歓声

### オープンティーボール大会

東山町オープンティーボール大会(岩手県ティーボール連盟主催)は4月6日、東山球場で催され、長坂、田河津、松川の3スポーツ少年団が参加しました。

バッティングティーに乗せた止まったボールを打って行われるティーボール。大会は、野球人口の底辺拡大とスポーツ少年団の交流のため、10年ほど前から続けられています。

リーグ戦による試合では、大きなヒットや豪快な空振りなど、好プレー・珍プレーが続出。チームメートや応援団から大きな声援が送られていました。



from ICHINOSEKI 一関

## 自分で作るとおいしいね

### 春休み体験！バスツアー

春休みの恒例となった「来て・見て・発見一関おもしろ館春休み体験バスツアー」は3月27日、行われました。小学生やその家族ら87人が参加し、3グループに分かれてもちつき、アイスクリーム作り、こけしの絵付けなど9つの企業が提供する特産品の手作りやもの作り見学で楽しい春休みの一日を過ごしました。

萩荘の(株)一関ミートを訪れたBコースの一行30人は、エプロンと三角きんを身に付け、ソーセージの腸詰めにも挑戦。参加者は、味付けひき肉が詰められたブタの腸を、長さをそろえてひねり上げました。力を入れすぎると腸が破れ、ひねりが足りないとソーセージ特有の歯ごたえが出なくなるとあって、一見簡単そうでも実際にやってみるとなかなか難しそう。苦勞してでき上がったソーセージはゆでられて、ツアーのおみやげとして手渡されました。

次に訪れた(株)佐々木製菓では、せんべい作りを楽しみました。温めた鉄製の焼き型に落花生、ごま、アーモンドから好きなトッピングを選び、その上に職人さんにせんべいの生地をはさんでもらい、自分たちで火の上に約80秒、型を反転させながらかざすと焼き上がり。いつもとは違う、焼きたてでやわらかいせんべいを味わった佐藤春香さん(厳美小2年)は「アーモンドとゴマをのせたせんべいを焼きました。あつあつでとってもおいしいです」とうれしそうでした。



上/ソーセージの腸詰めを体験。長さをそろえちようどいい具合にひねって左/鉄製の焼き型にせんべいの生地を詰め、火にあぶるといい香りが

## 多彩な催しでにぎやかに

### せんまや夜市今年も開幕

「せんまや夜市」(千厩夜市実行委員会主催)は4月12日、開幕しました。通算で201回目の開催となったこの日は、午後7時の花火を合図にスタート。よさこいグループの演舞や千厩町第10区自治会「たまご湯」の出前足湯、ファイアパフォーマンスなどが行われました。

少し肌寒いながらも、さえ渡る月明かりの下、本町・新町商店街の歩行者天国は、夜店を楽しむ大勢の家族連れなどでにぎわいました。

「せんまや夜市」は、10月までの毎月第2土曜日(8月は14日木曜)、午後7時から10時まで行われます。



from SENMAYA 千厩

炎のパフォーマンスに観衆は息をのんでいました



from KAWASAKI 川崎

ディベートを体験しながら親子の立場について意見を交わしました

## 決意を新たに活発な議論

### 子ども会・育成会研修会

川崎町子ども会・育成会リーダー研修会は3月23日、川崎公民館で催され、各自治会から子ども会役員の小学生と育成会役員約200人が参加しました。

子ども会事例発表では、石畑、布佐、本町・仲町の各子ども会が19年度の活動について写真などを使用して発表。その後、子ども会連合会総会で新年度の役員を選出し、さらに各自治会子ども会に分かれ、新年度の目標と活動計画を話し合いました。育成会は県生涯学習推進センター職員を講師に、「親と子ではどちらが得か？」をテーマとして、肯定、否定に分かれて議論するディベートの仕方を学びました。

## 収穫の日を楽しみに作業

### しいたけ植菌教室に50人

J Aいわい東主催の原木しいたけ植菌教室は3月22日、東部園芸センターを会場に催され、市内と藤沢町から約50人が参加しました。参加者は、電気ドリルで慎重に原木に穴を開け、シタケの種駒を木づちで打ち込む作業に取り組みました。

植菌した原木は、直射日光を避け、適度に水を与えながら管理すると、翌年の秋ごろからシタケが発生し始め、翌々年の春から本格的に収穫できるようになります。作業を終えた参加者は、「自分が育てたシタケを食べるのが楽しみ」と話していました。



from DAITO 大東

原木に種駒を打ち込む参加者

## 満開の桜の下さわやかに

### 吉川なまずの里マラソン

本市の友好都市、埼玉県吉川市で4月6日、「吉川なまずの里マラソン」が行われ、市内から室根町を中心に選手17人、同伴11人が参加しました。

同マラソンは吉川市市政施行を記念して始まり今年で13回目。満開の桜並木もあざやかな吉川路で5822人の選手がさわやかな汗を流しました。

3km中学生の部に参加した室根A C所属の佐藤優介君(川崎中3年)が優勝、遠藤凌平君(室根中3年)が準優勝と市内選手が上位を独占。好成績を残した2人は「調子が上がってきていたので、いい感じで走れた」と充実したレース展開を振り返りました。



from MURONE 室根

満開の桜並木を快走する選手たち